平成24年度（対23年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　24　年　5　月　28　日

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	臣田　弘	電　話	483-1151 内線2210

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	3113	事務事業名称	社会福祉協議会運営補助事業	短縮コード	経常	3113	臨時

予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費

区　分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	八千代市社会福祉法人助成条例

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

健康福祉都市の実現に向けて，行政施策とともに住民相互の参加型福祉社会づくりを推進するため，昭和45年施行の八千代市社会福祉法人助成条例により，社会福祉協議会の運営を支援する。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

社会福祉協議会は，昭和44年法人認可を受けて以降，社会福祉分野において行政に最も近い立場にある団体となった。特に国等の事業型社会福祉協議会への転換指針を受けて，これまでも市からの事業を受託してきたが，さらに今後は福祉サービスの多様化により社会福祉協議会を含めた社会福祉法人の役割は増大するものと考えられる。それと同時に，市民の期待に応えうる社会福祉協議会として，同団体の経営基盤強化が要請されている。

総合計画の施策体系

６本の柱（章）	01	第１章健康福祉都市をめざして
大項目（節）	02	第２節社会福祉
中　項　目	06	6．地域ぐるみ福祉
小　項　目	01	(1)人材・団体等の育成と活動支援
細　項　目	02	②福祉団体の活動支援
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	八千代市社会福祉協議会
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ・補助金の交付事務 ・補助金の交付に係る事業運営の評価等 ※平成24年度に計画していること： ・補助金の交付事務 ・補助金交付方法の見直し ・補助金の交付に係る事業運営の評価等
意図（何を狙っているのか）	社会福祉法の規定による地域福祉活動を推進し，住みよい地域社会を作ることを目的に行政を補完する役割を担うことで，地域福祉の増進に寄与する同団体を支援する。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区　分			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	八千代市社会福祉協議会総事業費	円	612,501,436	653,812,000	631,916,447	694,874,000
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	補助金額	円	97,833,005	106,228,152	103,817,427	109,352,439
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	全事業費における補助金の割合	%	16	16.3	16.5	15.8
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	3113	事務事業名称	社会福祉協議会運営補助事業	所属名	健康福祉課

			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円	658	651	651	651
		地方債	千円				
		一般財源	千円	97,175	105,578	103,166	108,702
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			事務局運営補助金87,758千円 民生児童委員協議会運営補助金10,075千円	事務局運営補助金96,720千円 民生児童委員協議会運営補助金9,508千円	事務局運営補助金94,906千円 民生児童委員協議会運営補助金8,912千円	事務局運営補助金99,898千円 民生児童委員協議会運営補助金9,455千円
人件費(B)			千円	1,964.2	1,930.6	4,029.1	4,029.1
トータルコスト(A)＋(B)			千円	99,797.2	108,159.6	107,846.1	113,382.1

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	地域福祉活動の主たる担い手である社会福祉協議会を支援することは，第4次総合計画の体系「人材・団体等の育成と活動支援」に結び付く。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	行政施策とともに住民相互の参加型福祉社会づくりを目的としているが，今後，ますます高齢化への対応が必要となることから，同団体の役割は大きく，支援を継続していくことが地域福祉の増進につながる。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	地域福祉の増進のため行政を補完する役割を果たす事業に対し補助を行っているのであり，民営化は馴染まない。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	所期目的に変更はなく，現状の対象と意図で結果に結び付く。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☑ 両方可能性がある ☐ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 ☑ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	八千代市第２次行財政改革大綱前期推進計画の取組みとして，より効果的な補助金の交付に向けた調査・検討を行っており，有効性や効率性も踏まえて進めていく。補助金の交付方法（補助となる対象事業等）の見直し。 類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☑ ない	

コード	3113	事務事業名称	社会福祉協議会運営補助事業	所属名	健康福祉課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☑ 改革・改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

補助金の交付に当たっては，社会福祉協議会に「経営改善・強化計画(H21～23)」の実績評価の実施及び次期改善計画の立案を促し，より効果的・効率的な事業の推進にむけ指導・助言する。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☑	☐	☐
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

補助金交付に当たり，各事業の効果的・効率的な実施を促すことにより，経費削減・成果向上が期待できる。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

財政的援助団体監査において，市の行革方針と同様に事業内容を見直し，体制整備を図るとともに自主財源の確保に努めるよう望まれている。

所属長コメント

社会福祉協議会における地域社会への役割及び事業内容，経営改善等の再検討を促すとともに，八千代市第２次行財政改革大綱前期推進計画の推進に向け，その成果を確実なものとして取り組んでいく。

評価調整委員会評価

- ☑ 改革改善して継続
  - ☑ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

経営改善・強化計画(H24～26)に基づき，より効果的・効率的な補助金の交付を図ること。